

カリキュラム区分		現行カリ			シラバス区分		専攻科		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
助産学実践領域	S113	1年	前期	助産学専攻科	必修	親子関係発達論	15	1	
						Relational Development between Infant and Parents			
担当教員									
井上 明子		仲渡 江美		瀧本 千紗		高橋 典子*			
関連するDPキーワード									
	① 生命の尊厳を基盤とし、助産師としての倫理観と責任感を持ち、対象を尊重することができる。								
	② 助産師としての役割や責務を自覚し、助産師であることに誇りを持つことができる。								
	③ 女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができる。								
	④ マタニティサイクルにある対象の個性性を尊重し、対象のもつ力を最大限にひきだすための基本的な助産診断及び助産技術を獲得できる								
○	⑤ 女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した子育て支援活動が理解できる。								
○	⑥ 周産期医療の高度化や多様化する価値観、時代のニーズに柔軟な対応ができる能力を身につけている。								
	⑦ 助産ケアの質の向上を図るために、研究的視点や科学的根拠を活用し、さらに探究する力を身につけている。								
授業目的									
発達心理学の側面から、養育者-子どもの相互作用と乳幼児期に必要な子育て支援について学ぶ。 ハイリスク親子関係について、特に児童虐待に関する知識と発見方法、その対応について学ぶ。									
到達目標（授業目標）									
1. 愛着について理解し、子どもの健やかな育ちを育む親子関係のあり方、また親の育ちを支援するための基礎的知識が理解できる。 2. 地域におけるハイリスク児の子育て支援を理解し、助産師の役割を考えることができる。 3. 児童虐待について理解し、早期発見とその対応のための助産師の役割を考えることができる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	①授業ガイダンス：この授業で扱う内容と到達目標 ②親子関係の発達（1）：赤ちゃんの不思議：見る世界の発達　　〔仲渡〕								
2回	親子関係の発達（2）：赤ちゃん学と自己の発達　　〔仲渡〕								
3回	親子関係の発達（3）：子育て支援，子育て支援を考える(1) 日本の親子関係　　〔仲渡〕								
4回	親子関係の発達（4）：子育て支援，子育て支援を考える(2) ①母親・父親としての発達　②家族システム論　　〔仲渡〕								
5回	父親支援（1）：父親の子育ての実際と課題　　〔井上・瀧本・教育協力者〕								
6回	父親支援（2）：父親への子育て支援 ①グループワーク　②発表　　〔井上・瀧本〕								
7回	児童虐待対策（1）：地域における児童虐待対応の実際　　〔高橋〕								
8回	児童虐待対策（2）：児童虐待予防と発見後のサポート体制　　〔高橋〕								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									

[illegible]